



2023年3月期 第3四半期決算に関するお知らせ

日本酸素ホールディングス(株) (社長 CEO: 濱田 敏彦) は、2023年3月期第3四半期の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、ウェブサイトを開示しております決算短信および決算電話会議資料をご覧ください。

記

1. 2023年3月期 第3半期累計(4月-12月) 業績概要

当該期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)における当社グループの事業環境は、ウクライナの地政学的問題、米中貿易摩擦、世界的なエネルギーコストの高騰や物価上昇、円安の進行など、先行きを見通すことが困難な厳しい状況でした。この結果、主力製品であるセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期比で減少しました。一方で、価格改定、コスト回収、価格マネジメント、堅実な生産性向上への取組みに、グループ全体で注力しました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益 8,730 億 42 百万円(前年同期比 26.2%増加)、コア営業利益 875 億 37 百万円(同 14.7%増加)、営業利益 843 億 98 百万円(同 10.7%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益 524 億 0 百万円(同 4.5%増加)となりました。

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第3四半期	第3四半期	増減額	増減率
(単位: 十億円)	(4-12月期)	(4-12月期)		
売上収益	691.5	873.0	+181.5	+26.2%
コア営業利益	76.3	87.5	+11.2	+14.7%
コア営業利益率	11.0%	10.0%		
非経常項目	-0.0	-3.1	-3.1	
営業利益 (IFRS)	76.2	84.3	+8.1	+10.7%
営業利益率	11.0%	9.7%		
EBITDAマージン	20.9%	19.1%		
金融損益	-7.2	-9.6	-2.4	
税引前四半期利益	68.9	74.7	+5.8	+8.4%
法人所得税	16.9	20.3	+3.4	
四半期利益	52.0	54.4	+2.4	+4.6%
(四半期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する四半期利益	50.1	52.4	+2.3	+4.5%
四半期利益率	7.2%	6.0%		
非支配持分に帰属する四半期利益	1.8	2.0	+0.2	
為替レート (円)	USD (米ドル)	111.45	136.85	
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	130.96	140.83	
	AUD (豪ドル)	82.69	93.16	

2. 2023年3月期 通期業績予想

2022年11月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

	2022年3月期	2023年3月期	前期比		2023年3月期
	通期	通期予想	増減額	増減率	通期予想(旧)
(単位：十億円)		(2022年11月1日発表)			(2022年7月29日発表)
売上収益	957.1	1,160.0	+202.9	+21.2%	950.0
コア営業利益	102.7	115.0	+12.3	+12.0%	107.0
コア営業利益率	10.7%	9.9%			11.3%
非経常項目	-1.5	-2.0	-0.5		-2.0
営業利益(IFRS)	101.1	113.0	+11.9	+11.7%	105.0
営業利益率	10.6%	9.7%			11.1%
EBITDAマージン	20.4%	18.9%			21.0%
金融損益	-9.5	-14.0	-4.5		-10.5
税引前利益	91.6	99.0	+7.4	+8.1%	94.5
法人所得税	24.9	28.5	+3.6		27.5
当期利益	66.6	70.5	+3.9	+5.8%	67.0
(当期利益の帰属)					
親会社の所有者に帰属する当期利益	64.1	68.0	+3.9	+6.1%	65.0
当期利益率	6.7%	5.9%			6.8%
非支配持分に帰属する当期利益	2.5	2.5	-0.0		2.0
為替レート(円)					
USD(米ドル)	113.04	138			115
(期中平均レート)					
EUR(ユーロ)	131.11	140			125
AUD(豪ドル)	83.33	93.5			82.2

※2023年3月期(通期)における為替換算による影響額合計見込み：売上収益 +809億円 コア営業利益 +101億円

(参考情報)

2023年3月期 第3四半期累計(4月-12月) 事業セグメント別業績概要

(単位：十億円)		2022年3月期	2023年3月期		前年同期比		為替影響
		第3四半期 (4-12月期)	第3四半期 (4-12月期)	構成比	増減額	増減率	
日本	売上収益	266.7	300.5	34.4%	+33.8	+12.7%	+0.3
	セグメント利益	22.4	20.1	23.0%	-2.3	-10.4%	+0.0
	セグメント利益率	8.4%	6.7%				
米国	売上収益	164.2	223.6	25.6%	+59.4	+36.2%	+37.4
	セグメント利益	20.4	26.0	29.8%	+5.6	+27.7%	+4.7
	セグメント利益率	12.4%	11.7%				
欧州	売上収益	149.2	203.3	23.3%	+54.1	+36.2%	+11.2
	セグメント利益	19.4	25.3	29.0%	+5.9	+30.7%	+1.4
	セグメント利益率	13.0%	12.5%				
アジア・オセアニア	売上収益	90.7	122.8	14.1%	+32.1	+35.3%	+13.3
	セグメント利益	9.7	12.3	14.1%	+2.6	+26.6%	+1.4
	セグメント利益率	10.7%	10.0%				
サーモス	売上収益	20.3	22.6	2.6%	+2.3	+11.2%	+0.3
	セグメント利益	4.9	4.4	5.1%	-0.5	-9.7%	+0.1
	セグメント利益率	24.3%	19.8%				
調整額	売上収益	0.1	0.0	0.0%	-0.1	—	
	セグメント利益	-0.7	-0.8	-1.0%	-0.1	—	
連結合計	売上収益	691.5	873.0	100.0%	+181.5	+26.2%	+62.7
	セグメント利益	76.3	87.5	100.0%	+11.2	+14.7%	+7.9
	コア営業利益率	11.0%	10.0%				

なお、当第3四半期連結累計期間より、従来、「日本ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」としていた報告セグメントの名称を、「日本」「米国」「欧州」「アジア・オセアニア」「サーモス」に変更しておりますが、セグメント情報に与える影響はありません。

【日本】

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガス及びLPガスにおいて出荷数量は減少したものの、コスト上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。また、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの販売は堅調で増収となりました。機器・工事では産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、前期に比べ増収となりました。一方で、エネルギー価格や物価上昇の影響に伴う製造コスト及び物流費等の上昇が続いており、販売価格の上昇との間に時間差があることから減益となりました。

【米国】

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は前期並みでしたが、売上収益はコスト上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。また、炭酸ガスについては特にドライアイスの販売が好調でした。機器・工事では、溶接・溶断関連機材で前期に比べ大幅に増収となりました。一方、エレクトロニクス関連の販売は前期並みでした。

【欧州】

主力製品であるセパレートガスは、客先稼働状況により出荷数量が減少しましたが、エネルギー価格と物価上昇の影響等の大幅なコスト上昇を販売価格の上昇で吸収できた結果、売上収益は大幅な増収となりました。また、生産性向上とコスト低減の取り組みによる寄与がありました。

【アジア・オセアニア】

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は堅調に推移し、売上収益は増収となりました。主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、引き続き仕入れ価格の上昇による販売単価の上昇と堅調な販売数量の推移により増収となりました。エレクトロニクス関連では、ガス・機器ともに好調に推移し、増収となりました。

【サーモス】

日本では、2022年春に政府による外出等の制限が緩和されたことから、ケータイマグやスポーツボトルの販売が堅調であったことに加え、フライパンなどの調理用品も好調に推移し、売上収益は大幅な増収となりました。海外での販売も順調でした。一方で、物価上昇による原材料価格の上昇と円安による製造コストの増加で減益となりました。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの4つの地域で30超の国と地域をカバーする世界第4位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界120カ国以上にTHERMOSブランド製品を供給しています。1910年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000名以上の従業員を擁する私たちは、“The Gas Professionals”として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513

Nshd.Info@nipponsanso-hd.co.jp